

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成30年3月末の経過報告)
1	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	学校教育課	○就学援助費について、従前は10月及び3月支給としていたが、平成29年度からは支給時期の前倒しをして7月以降とすることについては大変評価できると思う。なお、新入学児童生徒学用品費の入学前支給については、さらに入学前支給が可能かどうか検討されたい。	○就学援助費について、検討課題であった入学前支給については、協議を重ねた結果、本市においても実施することになった。 ○規約改正及び12月の補正により予算確保を行い、計51名の児童生徒に入学準備金の支給を実施した。

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成30年3月末の経過報告)
1	適応指導教室	教育指導課	○児童生徒や保護者等のニーズに応じて、必要な地区の公民館等に週1回程度相談員を派遣するなど、フレキシブルに相談業務等ができるよう改革改善を検討してほしい。	○桜川市教育支援センター「さくらの広場」に、事務点検評価委員の意見を伝達し、今後の支援方法等について協議した。児童生徒や保護者の要望があった場合には、柔軟に支援ができるような体制を整えることになった。 ○市内校長研修会の際に、事務点検評価委員の意見や「さくらの広場」での支援方法等について周知し、要望があった場合には相談に応じる旨を伝えた。 ○今年度においては市内小中学校からの要望はなかった。

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成30年3月末の経過報告)
1	市民文化祭事業	生涯学習課	<p>○市民文化祭に若い人の参加を高めるべく、小中学校の子どもたち、若者、高齢者などのジャンルを設けて、各ジャンルの参加者に企画や運営を任せるようにしてはどうか。</p> <p>○市民文化事業を継続してやるのであれば、改革・改善をして目的の再設定をしてほしい。</p>	<p>○市民文化祭には12の催事があり、ほとんどが文化協会会員が中心となって企画・運営を行っています。運営について、各催事ごとの運営体制の強化を図り、新しい試みも取り入れながら、市民文化祭の改革・改善を進めてきた。</p> <p>今年度の状況を見ると、ほとんどの団体で自主的な運営体制が取れており、少しずつですが、意識の変化が見られるようになってきた。これからも、改善に向け努力していきたい。</p>

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成30年3月末の経過報告)
1	区体力づくり推進助成事業	スポーツ振興課	<p>○事業実施行政区が真壁地区13行政区、岩瀬地区1行政区と真壁地区の行政区に偏在している。今後、岩瀬地区・大和地区でも行ってもらえれば事業を行う意義がある。</p> <p>○目的が「体力づくり」だとすると、この事業も一定の役割を果たしたのではないかと考える。少子高齢化が進展する中、事業の目的が「体力づくり」から「地域のコミュニティづくり」へと変容してきている。事業を継続していくのであれば、目的の再設定が必要なのではないかと考える。</p>	<p>○合併後10年経過はしているが、旧真壁地区の事業であるため真壁地区の行政区が主に事業を実施している。平成24年度は岩瀬地区で1地区、平成26年度は2地区に増え徐々に浸透しつつあったが、継続して実施するには至っていない。今後は岩瀬地区・大和地区でも事業を実施してもらえるよう、市広報誌以外の周知方法を模索していく。</p> <p>○各行政区において地域での交流や世代を超えたつながりもなくなりつつあり、近年は地域コミュニティが希薄になっている。この事業の本来の目的を再度見つめなおし、事業の名称・目的・意図など、世代間交流の契機となるよう現在の社会情勢にあった視点で内容を見直していく。</p>

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成30年3月末の経過報告)
1	まかべ幼稚園運営事業	まかべ幼稚園	<p>○幼稚園は家庭からはなれての集団生活・社会性を身につける場であり大切な時期である。集団生活を経験する中で、家庭との連携をとりながら基本的な生活習慣(躰け)の確立を目指してほしい。また、小学校に繋がる就学前の教育の充実と、幼稚園教育要領に基づく、質の高い教育・保育の充実と共に、特色ある園運営を図りたい。</p>	<p>○基本的な生活習慣(躰け)は、段階をふんで日々の生活(集団生活)の中で繰り返し指導することで身につけることができた。また、集団生活の中でも幼児期なりの善悪の判断ができるよう指導してきた。</p> <p>○小学校(真壁町4校)の協力によりアンケートを実施し、参考資料として本園独自のアプローチカリキュラムを作成した。就学に向けて取り組みスムーズに移行できるように努めた。今後も見直し・改善に努める。</p>

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成30年3月末の経過報告)
1	学校給食センター給食指導事業	学校給食センター	<p>○学年別や月毎にテーマを決めカリキュラムを組み、各学校の全クラスに出向き食育指導をしております、食育は適切に実施されていると考える。</p> <p>○食に関する配布文書や指導方法をさらに創意工夫して、食育指導に取り組んでもらいたい。</p>	<p>○学年別に月毎にカリキュラムを組み各学校の全クラスに出向き食育指導を行った。調理員も調理用具を持って訪問し、子どもたちに学校給食への関心をもってもらった。</p> <p>○各家庭においてもIT機器を利用していることから、桜川市のホームページで「学校給食」のページを開設し、食に関する情報を発信し、学校・家庭・学校給食センター等で総合的な食育指導に取り組んだ。</p>

平成29年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担 当 課	点検評価委員の意見	対 応 策 (平成30年3月末の経過報告)
1	南学校給食センター運営事業	南学校給食センター	○平成30年4月に当センターを廃止し学校給食センターに統合する計画であり、今年度最後の年になると思われるので、児童生徒の心身の健全な発達のため、安心安全な給食提供を望む。	○学校給食の衛生管理・安全管理を遵守し、安心安全な給食提供に努めた。